

# 地域情報 インフォメーション

**寿会連合会** 投稿者：会長 大嶋隆太郎

## 『周南市しゃっきり体操』で健康づくり

高齢者の健康づくりの一助として、周南市が作った「周南しゃっきり体操」を、5月21日の久米地区寿連総会の研修で寿会会員約30人が、介護予防ひろめ隊「しゃっきりリーダー」7人の方の指導で体験学習しました。



**婦人会** 投稿者：会長 吉岡朝香

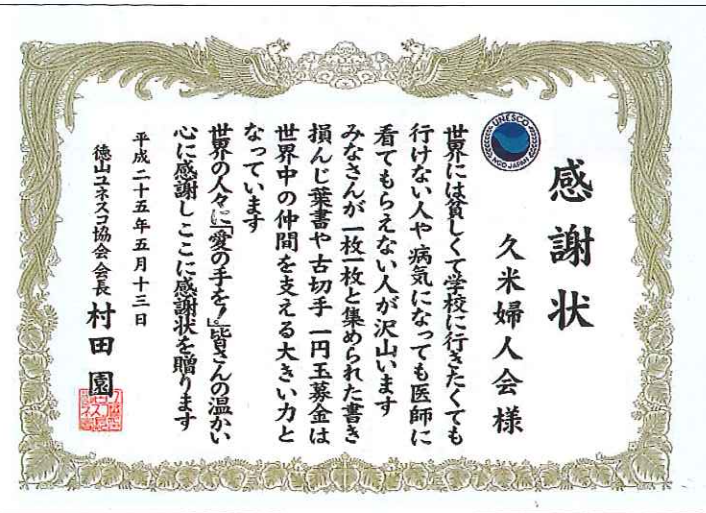
## <遊休品提供のお願い>

8月3日(土)の夏まつりで、今年も食バザー、遊休品の出店を計画しております。皆様のお宅で提供いただける物がありましたら是非ご協力下さい。前日の2日(金)9:00~久米支所1階講堂で集荷を行いますのでご持参下さい。

又、ご一報頂ければ取りにお伺い致します。(Tel.25-5039 吉岡)

## <ユネスコ協会より感謝状>

古切手、書き損じハガキ集めに長年ご協力いただきありがとうございます。ユネスコ協会は方々から集めたこれらの品を販売し、お金に換えて世界中の貧しくて学校に行けない人、病気なっても医師に診てもらえない人、また予防接種、世界遺産保護等に使われていると聞きます。これからも一人ひとりの温かい心に感謝しつつ婦人は集めてまいります。



**体育振興会** 投稿者：事務局長 舞田義昭

体育振興会では地区の自主事業として①ソフトバレーボール大会②バレーボール大会③ソフトボール大会④グラウンドゴルフ大会⑤卓球大会⑥駅伝大会⑦バドミントン教室⑧エスキーツennis教室など今年度も体育部長さんを通じて、「みんなでいい汗・いい気分!」をモットーに、地域のみなさん方と一体となって楽しくふれあいたいと願っております。

## 25年度役員紹介 (よろしくお祈いします)

会長：貴船 進  
副会長：生島鈴枝・白井春彦・岩田淳司  
周南市スポーツ推進委員：室本哲郎・貴船 進  
会計：兼重江美子  
事務局長：舞田義昭



コミュニティ

# くめ

平成25年7月15日

第94号

編集・発行  
コミュニティ推進協議会 広報部  
6月1日現在 久米の人口  
男 4,431人 8,908人  
女 4,477人 (前年比184人増)  
世帯数 4,161世帯

## <開催のお知らせ>

# 第34回久米地区ふるさと夏まつり

日時：平成25年8月3日(土) 17時~21時

場所：久米小学校運動場  
(雨天の場合:久米小体育館)

主催：久米地区ふるさと夏まつり実行委員会



今年も恒例の久米地区ふるさと夏まつりが開催されます。午前中には地区内を南北の2コースに分かれて、「子供みこし」の巡行があります。夕方からは地元の方によるステージショーやさんさ踊り、福引き抽選会もあります。各種飲食バザーもご用意しています。夏の夜の夕涼みに、ご近所お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ちしています!

(夏まつりプログラムは、8月1日号周南市広報に合わせて各戸配布します)

## “さんさ踊り仮装コンテスト”出場者募集

賞品：個人優勝・団体優勝・参加賞 総額10万円

個性あふれる仮装で夏まつりを盛り上げましょう!!

仮装でさんさに参加していただいた個人・グループの中から審査のうえ、賞品を贈呈します。なお、贈呈対象者は参加申込み登録の上、出場していただいた方に限ります。

※参加ご希望の方は7月26日までに、久米公民館 金近主事 (Tel.29-0451)までご連絡ください。





# 久米小5年生・コミュニティ学習田 (コミュニティスクール)



## 6月7日(金)米作り説明会

『私たちが食べてる“お米”は、どのようにして作られるのかな?』

子ども達が田植えをする前に、米作りについての説明会を開きました。苗作り、田んぼの代掻き、苗植え、水の管理、草取り、害虫駆除、稲刈り、稲架、脱穀など多くの行程を経てお米が出来ることを学習しました。



## 6月11日(火)田植え作業

梅雨の時期、雨が心配されましたが幸い降ることもなく、薄曇りで田植えには絶好の天気となりました。9時に老郷地下の学習田に集合し、コミュニティ事務局・民生委員児童委員協議会等、地域の有志の皆さん(12名)の協力を得て田植え実習を行いました。子供達はぬるむ土に足をとられて転倒しそうになったり、カエルに驚いたり最初は四苦八苦の連続でしたが、慣れると段々上手に苗を植えていきました。実際に体験することで米作りの苦労の一端がわかった半日でした。



# くめいち きゅうさんようどう 久米市と旧山陽道 投稿者：池部博正 (久米市下自治会)

久米を通りぬける旧山陽道について、昔は都濃郡久米村と呼ばれておりました。下の絵図で解るように●で記されているのが屋敷地で密集しております。この絵図は宝暦13年(1763年)に、屋敷地図は宝暦12年にそれぞれ描かれたものです。(山口県文書館資料より)

屋敷地図には、その当時住んでいた人たちの俗名が記してあり、これを参考に現在住んでおられる旧家の方々に協力していただき、その家の過去帳を調べてもらったところ名前が見つかり、久米市の歴史を感じ当時に想いを馳せました。写真は現在の旧山陽道ですが、絵図と変わらない道の曲がり角に感動すら覚えます。調べたところ、ここ久米市には市目代役(今で言う駅逓のことを掌る地下役人)が人馬・籠等の準備・用達を成し、その賃金を徴収していました。その場所が絵図に記号で描いてあり、古老に訊いたところ、先代が昔話で語ったそうです。

ただいま、“地元をもっと知りたい”を合言葉に久米地区コミュニティ推進協議会では「久米の歴史を語り、学ぶ会」を毎月1回開講しております。久米の史跡等に関心のある方は参加してみませんか。

(問い合わせ先：久米公民館 金近主事まで TEL29-0451)



## ～歴史豆知識～ 旧山陽道とは?

古代の山陽道は都と太宰府を結ぶルートとして、また、大陸からの文化を都へ伝える路として重要視され、古代日本唯一の大路として整備、活用されました。中世に一旦衰微しますが、近世になり参勤交代制の確立と共に再び活況を呈し、瀬戸内海航路と並んで各地の特産品の流通を支えるルートとしても、東海道、中仙道、日光街道、奥州街道、甲州街道のいわゆる五街道に並ぶ交通路として、重要な役割を果たしました。また、山口県内の山陽道は、幕末には吉田松陰や高杉晋作などの維新の志士達がある時は遊学の為に、ある時は護送される囚人として、またある時は外国艦隊や幕府軍を迎え撃つ為の軍隊を率いて行き交った維新の道でもありました。現在の山陽道は国道2号線や山陽自動車道、JR山陽本線などの開通、発展などで寸断され、なかには荒廃、消滅してしまった場所も見られますが、現役の道がまだ比較的多く残っています。

